

第5回山元町震災復興会議 要旨

| 話 題 | 内 容 |
|--------|---|
| 復興の方向性 | ・バスについては、岩沼や仙台のみに停まる直通バスなど、学生のための仙台方向の通学の足の確保を考慮してほしいです。 |
| | ・民間が復興に向けて動き出さなければいけないと思います。 |
| | ・財源が厳しいと思うので、農業、商業から復興していただきたい。 |
| | ・子供の支援を充実してほしいです。ぐるりん号の充実も考えてもらえると良いと思います。 |
| | ・財源など実現性の担保がほしいです。 |
| | ・浜通りでは墓地が被害を受けました。共同墓地等、墓地についても検討してほしいです。 |
| | ・農業で働ける場の設定をお願いしたいと考えます。 |
| | ・福祉、高齢者の視点を持ってほしいです。 ・JRに代わるものとして、民間バスの活用を検討してはどうかと思います。 |
| 人口推計 | ・J Rの復興や住宅地の形成により住民の数が増えると想定しているように思いますが、期待的な数字ではなく、シビアにマイナス気味に判断した方がよいのではないのでしょうか。 |
| | ・人口減少はまだまだ進むだろうと思います。今いる人を減らさないことをまず考えるべきだと思います。 |
| | ・人口について現実を踏まえた町独自の分析をすべきではないのでしょうか。 [町からの回答] 人口減少については、震災がなくても、減少に歯止めがかからない状況であり、施策を講じ、減少傾向に歯止めをかけていく責任があると考えています。将来人口を14000人とするか表現を再度検討したいと思います。 |
| 人口対策 | ・財源を考えた場合、町外から金を落としてもらおうような商売や、企業誘致などの具体的なことを進めていかなければ、町としてやっていけないと思います。 |
| | ・仮設に住める期間が、人口転出を食い止める勝負の期間だと思います。 |
| | ・人口について、ネックになるのは仙台までの時間・距離であると思います。 |
| | ・住民の意見を聞いてほしいです。全てを聞き入れることはできないと思いますが、地域ごとに話し合いをして進めていってほしいです。 |
| | ・地域のコミュニティを無視して移転するというのには住民として抵抗があるので、地域住民と話し合いを持って進めてほしいです。 |

| | |
|---------|---|
| 町民の意見聴取 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区毎に意見交換のテーブルを設けて、住民の意見を聞いていただいてから、答を出してほしいです。 <p>[町からの回答]</p> <p>話し合いについては、予算に裏打ちされた段階で、計画についての説明会を開くほかに、土地利用誘導が必要なエリアや集団移転を対象とした説明会も行っ て参りたいと考えています。</p> <p>限られた時間内に議論を進めなければならない中、皆さんから頂いたご意見を ベースにして計画づくりを考えています。事業が具体化になれば、個別に意見 を聞きながら進めることになると考えています。</p> |
| 新駅の位置 | <ul style="list-style-type: none"> ・宮城病院付近に新駅が必要だと思います。病院が震災の避難場所にもなった こともあり、町が病院を支援すると良いと思います。 ・国道6号との交差の関係で、坂元駅の位置が高くなると思いますが、坂元駅 は坂元交差点付近がいいと思います。 ・山下、坂元、病院付近の3駅の設置をお願いしたいです。 |
| 居住地 | <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度自己責任を認めた上で、現在のJRの上辺りに住んでもいいように、 居住エリアをもう少し増やしてほしいです。 ・イチゴ農家は農地と宅地が近くなるようにお願いしたいです。 ・移転先の希望を踏まえて、開発地を検討してほしいです。 |
| 漁業・漁港 | <ul style="list-style-type: none"> ・磯浜漁港の復旧の実現性はあるのでしょうか。 <p>[町からの回答]</p> <p>町として漁港の復興は必要と考え、国と協議しながら復旧する方向で作業を進 めています。</p> |